



養成する人材像

- 1 心理支援業務の遂行に求められる高い専門的知識・技能・倫理観を備えた心理支援の高度専門人材
- 2 科学者－実践家モデルの理念に基づき、科学的根拠に裏づけられた心理療法の一つである認知行動療法を実践することのできる心理支援の高度専門人材
- 3 保健医療・福祉・教育の現場において、心理・看護・医学等の知見を活用して多職種連携によるチームアプローチを実践することで心理的諸課題の解決に寄与することのできる心理支援の高度専門人材
- 4 地域における心理的諸課題の解決に向けて、研究倫理に関する素養を身につけた上で認知行動療法に関する理論研究や実践研究を推進し、その成果を国内外に発信する能力を備えた心理支援の高度専門人材



＼こんな方を求めています！／

アドミッションポリシー

- 1 認知行動療法を中心に心理支援に関する高度な専門的知識と技能及び実践力を身に付け、心の健康の維持・増進とウェルビーイングの向上に関心がある人
- 2 認知行動療法を中心に心理支援実践や研究の発展に向けて、理論的・実践的研究を推進し、科学的根拠の蓄積と社会に発信することを志す人
- 3 地域の保健医療分野、福祉分野、教育分野における心理支援、教育、研究を通して社会に貢献する意欲を有する人
- 4 高度専門職である公認心理師を志す者として、学部レベルの心理学に関する基礎知識・技能を有している人

＼これからのスケジュール(予定)／

詳細はお問い合わせください

令和8年8月頃 設置認可予定

※設置計画は予定であり、内容に変更があり得ます

令和8年11月頃 第一次入学試験(推薦・一般)

※第一次入学試験の状況によっては
第二次試験を実施します

令和9年4月 入学式・授業開始

お問い合わせ

宮崎大学医学部 医療人育成課

Mail clin_psych@med.miyazaki-u.ac.jp

電話 0985-85-9189 FAX 0985-85-0693



宮崎大学大学院で 公認心理師に

仮称：健康科学研究科
心理科学専攻[修士課程]

認可申請中 2027(令和9年)設置予定

国家資格 公認心理師

科学者－実践家モデルに基づいて、科学的根拠に裏づけられた心理支援を実践することのできる高い専門的知識と技能を修得するとともに、高い倫理観と責任感を兼ね備え、心理支援のリーダーとして地域社会の心理的な課題の解決に寄与できる人材を養成します。



宮崎大学の精神科をはじめとする心の医療チーム、各世代にわたる医療とひとの心に寄り添う看護チーム、臨床心理の先端研究と実践を支えてきた心理チームが手を結び、**健康科学研究科 心理科学専攻**として保健医療を、そして、人々の心の健康を支えます。

ひとのシアワセを支える専門家 公認心理師の活躍の場

宮崎大学の心理チームは、子育てや学校教育、障害のある子どもの治療教育や障害者支援の領域で、伝統的に強みを発揮してきました。

保健医療

病院やクリニックでのカウンセリングや検査、心理療法に加え、ひきこもり支援、e-CBT、自殺予防、未熟児・早産児の発達支援・療育支援としてのペアレント・トレーニング、5歳児検診に伴う早期ケアなど具体的なプログラムをもって活躍します。



福祉

児童福祉・障害児福祉・高齢者福祉の現場での当事者、そして支援に関わる人々も含めて心の支援を行います。一般的な子育て支援としてのペアレント・プログラムやペアレント・トレーニングで多層的な支援を行います。



宮崎大学の得意技は 認知行動療法



認知行動療法とは

認知行動療法（CBT）は、個人と環境との相互作用の視点から、物事の受け止め方や考え方（認知）と行動に働きかけたり、環境を調整したりすることで、ストレスを軽くしたり心の症状を改善したりする心理療法です。うつ病、パニック症、強迫症、PTSDなどの症状改善に特に有効とされ薬物療法に匹敵する治療効果が認められています。高い再発予防効果や副作用の少なさなどから、注目されている心理療法です。令和8年度の診療報酬改定において「認知療法・認知行動療法」の見直しが行われ、公認心理師による認知行動療法的アプローチに基づく心理支援が保険診療になりました。

司法・犯罪

犯罪被害者の救済、犯罪や事故の防止やプロファイリング、犯罪捜査、真犯少年や要保護少年の支援、離婚や養育権の調停などの領域で、様々な要件や心情の理解、また解決過程の中でのストレスのマネジメントなどの場面で活躍します。



教育

一般的な子育て支援・学校への支援はもちろん、困った事態を防ぐ一手先の手立てとしての思春期の抑うつ予防、レジリエンス育成、スクールワイドPBS、発達障害児やその保護者支援、自殺予防教育。いざ困った時の、不登校対応、学級崩壊対応、いじめ重大事態への対応を行います。



産業・労働

労働環境下でのストレスマネジメント等、職場のメンタルヘルスの領域で活躍します。働く世代が減りつつある時代だからこそ、働くみんなが心も身体も良好な状態で活躍できるコンディショニングづくりが大切です。ワークライフバランスが、未来の産業・経済、そして、人々のウェルビーイングを支えます。

